

# かわにし

議会だより

第120号

2015

1.15



## 福よ 来い

東沢小学校しめ飾り作り P16に関連記事

26年度の		
政策提言書を提出	.....	2
玉庭小屋内運動場を新しく	.....	4
農業問題など4議員が町政をたず	...	8
海外研修報告(交流と相互理解)	.....	16



こやったらどうか!

# 26年度の政策提言書を提出



26年度の政策提言書が議長から町長へ

11月17日、昨年に続き二回目となる26年度政策提言書が議長から町長に提出された。これは川西町議会基本条例の規定によるもので、8月18日から20日まで4会場で開催された「町民と議会との意見交換会」を受け、最終的に全議員合議で成案となったものである。

二回目ということもあり、昨年の反省と継続性重視のバランスから、いくつか改善もなされた。

その一つが、提言書の文言を可能な限り具体的、直接的表現とし、回答もまた住民にわかりやすい言葉で返るように工夫したことである。第二に、当局の予算案策定の日程以前に、議会からの提言を届けるという日程の持ち方をするものである。議会の意向がどのような形で反映されていくかを、議会は通年検証することができるようとなった。

これに対して12月19日、町長から回答がなされた。政策提言を改善・進化させようとの議会の意に沿って、回答もシンプルな表現に配慮されたことが見える。

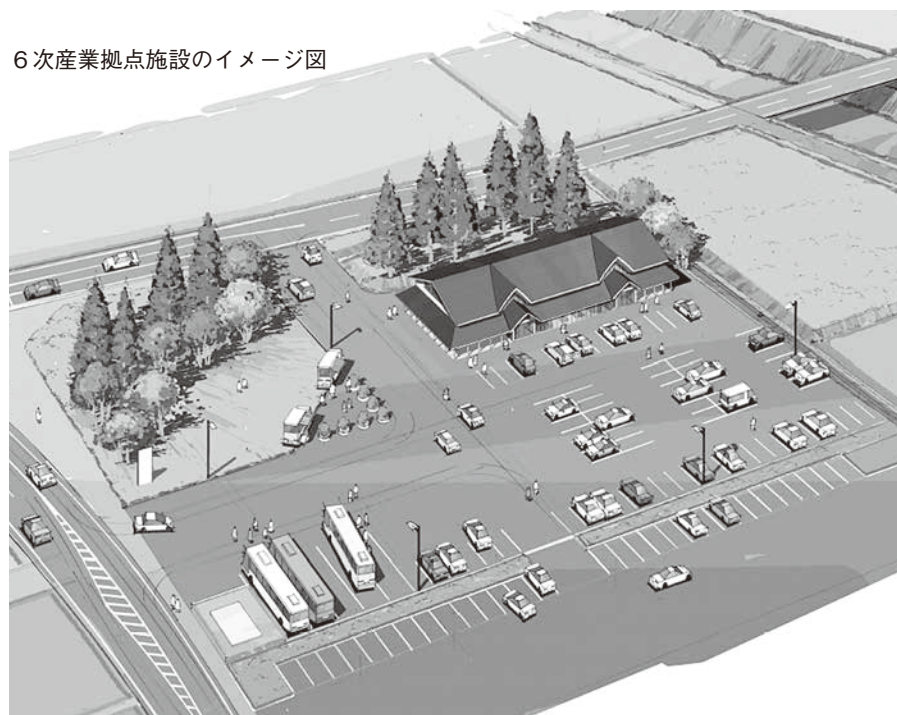
## 1 提言

### 町有施設の管理計画を住民参加で

- ① 住民参加で、町有施設の管理計画を
- ② 建設は総合計画との整合性を
- ③ 施設の機能と役割を明確にし、複合化せよ
- ④ 建設後の点検・検証を制度化せよ

## 回答

町有施設の総合管理計画は、27年度中に策定する。第5次の総合計画の策定もあり、その際住民の意見を幅広く聴取する。③については同意。複合化する方向で検討。④も同意。



6次産業拠点施設のイメージ図

## 2 提言

### 6次拠点施設―営業プランを軸に

- ① 実施設計は運営主体の営業プランを軸に
- ② 施設のレイアウトを再検討せよ
- ③ 置賜農業高校との連携を重視せよ

## 回答

組織設立発起人会が出資者を募集し、27年1月中に体制を整えたい。②については、直売施設を中心としながら、その素材を活かした飲食スペースも設置する方向で進めたい。③は同意。



「多機能施設（複合施設）として再建」の案が浮上してきた



12月定例会が12月2日から12日までの11日間の会期で開催されました。

第1日目に、人権擁護委員の諮問1件を可決し、指定管理者の指定2件、一般会計等補正予算3件を一括上程し、予算特別委員会に付託しました。

第2日目に、一般質問を行い4議員が農業問題などを取り上げ、町政をたえました。

第3日目以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。

最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した5議案を原案通り可決し、追加議案の請負契約の締結、一般会計補正予算1件を原案通り可決した後、議員発議2件を可決して、閉会しました。

なお、今期定例会の傍聴者は8人でした。

# 玉庭小学校屋内運動場を新しく

## 工事費2億9808万円

定例会最終日に、玉庭小学校屋内運動場新築工事請負契約の締結議案が提案され、可決された。

公立小中学校等施設は、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」により、耐震診断及び耐震改修の努力義務が課せられているが、さらに、改正された「地震防災対策特別措置法」により、その設置

者である地方公共団体に、耐震診断の実施及びその結果の公表が義務付けられている。国では、耐震化率を平成27年までに9割とすることを目標としている。町では、この法律を受けて、校舎等の耐震診断を実施しており、小松小学校については耐震化工事が終わっている。

25年度に耐震診断を実施したが、校舎、屋内運動場とも、「地震に對して倒壊し、または崩壊する危険性が高い」と判定され、「補強の必要あり」との診断結果が出た。

校舎は補強によることとしたが、屋内運動場については

①学校行事、児童の体育授業を安全に実施する施設である。

望により、これまでと同様にステージを設置することとし、椅子等の収納も行えるようにする。

④屋根材を塗装等の維持管理費の軽減を図るため、アルミ型材とする。

### 請負契約を締結

構造は、鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、平屋建。

新築床面積は、屋内運動場622・23平方メートル、渡り廊下14・04平方メートル。

※債務負担行為期間は平成27年度。債務負担行為の限度額は2億7280万円である。

指名競争入札により、株式会社殖産工務所が受注した。請負契約金額は消費税込み2億9808万円。工期は平成26年12月12日から28年3月15日まで。

全員賛成により可決



倒壊の危険ありとされた玉庭小屋内運動場

②防災計画における避難場所及び住民の社会体育や各種行事会場として必要な施設である。これらを理由に、新築することとした。

当初、概算工事費を2億1600万円（国費は交付金対象事業費の10分の5・5、残事業費は起債充当）とし、26・27年度の2カ年の工事を予定していた。

しかし、実施設計業務を行ったところ、工

事費が大幅増額となった。その理由として、

①建築主体工事について資材や労務単価が高騰し、全単価約20%上昇。直接工事費が1・2倍となったため、諸経費率を合わせると1・4倍となる。なお、電気設備工事、機械設備工事には大きな高騰はない。

②一般用トイレ、障がい者用トイレ及び水飲み場の水周りを新設。

③学校現場や地域の要

玉庭小学校屋内運動場の完成予想図（外観パース）





# 補正 予算

## 浴浴センター大規模改修関連に775万円

一般会計補正予算第7号及び第8号が全員賛成で可決された。

主なものは次ページ上段の表のとおりであるが、防犯用監視カメラとモニターや駐車場の整備、さらに有機EL照明の県補助による導入など浴浴セ

ンター改修関連が予算化された。  
歳入では、リゾート関連の固定資産税滞納繰越分5770万円が入金したり、本誌4月号（No.17）で紹介した「がんばる地域交付金」が確定し、借金を予定していた分を財源更正する補正である。

わかりやすく、周知に努めると共に、柔軟な対応が必要である。

**問** 高齢者の肺炎球菌予防接種が追加になるが、本町での取り組みはどうなっているか。

**健康福祉課長** 平成26年10月から予防接種法の改正によって定期予防接種に追加された。対象者は65歳から5歳さまで、町内で1100名が見込まれているが、自己負担がある。

### 産業厚生 第2 分科会

**問** 高齢者等世帯への雪おろし等援助事業に36万円余の補正であるが、その積算根拠は。

**健康福祉課長** 労務単価の高騰に伴い、助成額を増額したもので、一人1万円を1万5000円とした。

**意見** 各種の雪害対策事業について、

**問** 検診事業にも490万円余の補正があるが。

**健康福祉課長** 働く世代の女性支援との国施策によって、子宮頸がん及び乳がん検診の対象者が拡大した。

の他に、県の有機EL製品モデル導入支援事業を受けて、有機EL照明器具が購入される。補助率は2分の1である。  
3億円もの浴浴センターの大規模改修には異論もなかったわけではない。ダリヤ園と内山沢、そしてパークゴルフ場とセットで川西観光の目玉となりうるか否かは今後のソフト事業展開にかかっている。  
知恵のしほりどころはこれからである。



着々と工事が進む「まどか」

### 総務文教 第1 分科会

**問** 地区センターの修繕費は、5万

円以下の小なるものは指定管理者負担、それを超えるものは町負担となっている。分担のあり方について検討が必要では。

**まちづくり課長** 精査し、検討する。

### 指 定 管理者

「まどか」のリニューアルオープンに期待  
川西町浴浴センター「まどか」は、株式会社ダリヤパークサービス（代表取締役社長・片倉尚）が指定管理者となり管理運営を行ってきた。

このたび、これまでの経験を生かし、利用者ニーズに 대응することができ、業務に精通し安定した管理運営が望めるとし、「引き続き公募によらない選定方法」で同社を指定管理者として指定することとなった。期間は、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間。

川西町たまにわ堆肥センターは、株式会社ランピードたまにわ（代表取締役・須貝寿裕）が指定管理者となり管理運営を行ってきた。この施設も、「引き続き公募によらない選定方法」で指定管理者として指定することとなった。期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間。

全員賛成により可決



循環型農業システムの拠点  
たまにわ堆肥センター

### 平成26年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計（第7号）	98億7183万円 （5284万円の追加補正）	全員賛成により可決
一般会計（第8号）	98億7500万円 （316万円の追加補正）	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計（第2号）	19億7984万円 （10万円の追加補正）	全員賛成により可決

#### 水道事業会計（第3号）補正予算

	収 入	支 出	議決の内容
収益的支出	5億2801万円 （1076万円の減額補正）	5億2576万円 （12万円の減額補正）	全員賛成により可決

#### 平成26年度補正予算（第7号、8号）の主な内容

歳出（支出）	
農地集積協力金	976万円
体育館修繕料	107万円
除雪グレーダー修繕料	500万円
小学校体育館耐震化設計委託	211万円
浴浴センター整備、備品	775万円
県道路整備の負担金	765万円
福祉灯油助成	316万円
歳入（収入）	
国定資産税（滞納繰越分）	5770万円
がんばる地域交付金	2768万円
財政調整基金繰入金	▲4778万円
置賜広域病院組合返還金	1875万円

## たまにわ堆肥センター、浴浴センター 引き続き管理者に指定



# 一般質問

## 「地方創生」、町対応のチャンス

町長―町経済への影響をプラスに転じる努力



町長 秀夫 議員

定例会2日目に、4人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

**淀** 金融緩和、財政出動、成長戦略の3本の矢、経済最優先のアベノミクスが順調な中、一方で中央と地方とは種々の格差が広がっている。国は地方創生による方向修正に本腰を上げた。人口減対策の基本理念「まち、ひと、しごと」の地方創生法と地域再生法の改正により、格差是正を進めている。

えようではおおよそ10億円が減収すると見られる。大問題だ。

**町長** 米の下落で経済への影響は避けられない。この為、緊急の金融支援を図ったところ、生産者19件の申請があった。

**淀** 地方創生の政策は一部でパラマキとも言われているが、国では、地方創生に向けた交付金の創設を検討している。

**町長** 6次産業化による拠点施設が中松の芳文社よねざわ印刷跡地に建設され、平成28年にオープン予定である。地方創生特区指定のチャンスを生かす対応が遅すぎないか。

**淀** 8年前から始まった「ふるさと納税」。地方創生と

**町長** 予定通り進める。

の抱き合わせ政策で、好きな自治体に納税できる。お礼の品として各地方の特産品が貰え喜ばれている。私も石巻市に納税し、生力キが届けられ美味しく頂いた。3・11の被害の早い復興を願っている。町の「ふるさと納税」が昨年より2倍にも増えている。町民の関心を引くPRの方法を考えてはどうか。



返礼品が新たに追加され、ボリュームアップ

## 米価暴落対策、町独自の対策は

町長―現在のところ具体的には考えていない

**町長** 9月議会で、経営安定対策（所得補償）の補助金半減と米価の大幅な暴落対策について質問し、情報提供と具体的な対策を求めたが、その後どう対応したか。

**町長** 米価下落対策緊急資金利子助成制度を実施し、融資に対しての利子補てんを行い、農家の負担軽減に努めている。現在まで19件、1739万円を認定している。

**町長** 米価下落対策緊急資金利子助成制度を実施し、融資に対しての利子補てんを行い、農家の負担軽減に努めている。現在まで19件、1739万円を認定している。

**町長** 米価下落対策緊急資金利子助成制度を実施し、融資に対しての利子補てんを行い、農家の負担軽減に努めている。現在まで19件、1739万円を認定している。

**町長** 直接支援を考えると数億円の財政支出となり、現実的には難しい。

**町長** 有機米や環境保全の活用などにより安全なものを生産するとともに、その補助制度を有効に活用する方向への誘導や、飼料米の生産拡大でいくらかでも農家の手取りを増やすべきである。

**町長** 有機米や環境保全の活用などにより安全なものを生産するとともに、その補助制度を有効に活用する方向への誘導や、飼料米の生産拡大でいくらかでも農家の手取りを増やすべきである。

**町長** 有機米や環境保全の活用などにより安全なものを生産するとともに、その補助制度を有効に活用する方向への誘導や、飼料米の生産拡大でいくらかでも農家の手取りを増やすべきである。

**町長** 学区再編の協議会が12月に答申を出し、今年度中に教育委員会の学区再編の結論が出される。平成18年策定の小学校2校（小松小、吉島小）にする計画がある限り、結論は予想できる。

**町長** 一方、各学校では、学校支援事業やコミュニケーションスクール推進などで、地域住民との関わりを強め、地域とともにある学校を目指している。児童の教育環境の向上はもちろん、地域づくりの観点からも学校の存在は必要と思うが。

**町長** 一方、各学校では、学校支援事業やコミュニケーションスクール推進などで、地域住民との関わりを強め、地域とともにある学校を目指している。児童の教育環境の向上はもちろん、地域づくりの観点からも学校の存在は必要と思うが。

**町長** 現在町内8小学校に762人の児童が在籍している。今年度生まれた子どもが入学する33年には616人となり、150人減少する。入学者も1、2名の学校や全校児童20人以下の学校も出てくる。こういった中で、教職員の負担軽減を図りながら進める。

**町長** 現在町内8小学校に762人の児童が在籍している。今年度生まれた子どもが入学する33年には616人となり、150人減少する。入学者も1、2名の学校や全校児童20人以下の学校も出てくる。こういった中で、教職員の負担軽減を図りながら進める。

消、登下校時の安全確保など課題と考える。協議会の協議は、望ましい教育環境を整えるための協議であり、地域づくりの観点からの議論は別の場で行いながら進めている。再編の際は保護者や地域住民の合意形成を図りながら進める。



地域の先生と共にひと工夫（地域支援事業より）



# 一般質問

## 人口減少克服、地方創生策を早急に

町長―第5次総合計画で早期に戦略を策定する



島貫徳右エ門 議員

**島貫** 以前から少子化、人口減少問題が論じられてきた。5月8日発表の日本創生会議・人口減少問題検討分科会によると、30年間で子供を産む20〜30代の若年女性が半分以上となる自治体が、全国で876市町村あり、消滅可能性地域に本町も含まれている。

基本理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」が11月21日に成立した。早急に対策を求める。

**町長** 少子化・人口減の歯止め策としては、第5次総合計画と連動して総合戦略を早期に策定する。

若者の自主自立した生活と就労の支援を核に、産業の振興、雇用対策、子育て支援、高齢者の元気健康づくりを軸としながら、地域活性化や交流人口の拡大と、地域資源を生かした協働のまちづくりを進める。

**島貫** 本町は、置賜管内の地理的中心

にあり、国道道の整備が着実に進行されている。管内30分構想が可能なと利便性を感じる。地の理を生かし、通過型とならない施策は。

**町長** 各自治体との情報共有化や交流を図り、行政サービスの広域化、広域連携を推進していく。また公立置賜総合病院周辺の利用についても、都市計画区域の拡大によるエリア設定を受け具体的検討を進める。

**島貫** 自治体の自己決定、自己責任については。

**町長** まち・ひと・しごと・創生法に基づき若者が定住でき、自主自立のまちづくりを第5次総合計画で、1%の人口増対策、1%のエネルギー活用を先進事例に学びながら取り組む。

**島貫** ふるさと納税寄付金を増やすには

増やすには、評価の高い市町に学ぶべきと考えるが。

**町長** 寄付者にとっての魅力づくりや話題づくり、自治体の関係づくりの取組み等

ふるさと納税実績(平成26年9月末現在)

順位	市町村名	件数	寄付金額
26	川西町	318件	389万円
1	天童市	1万4104件	1億6291万円
2	最上町	9155件	1億1561万円
3	三川町	5797件	7010万円
4	尾花沢市	5570件	6423万円
5	長井市	4637件	5258万円
6	酒田市	4816件	5136万円
7	庄内町	2655件	4404万円
8	飯豊町	3099件	4072万円
9	東根市	2501件	2556万円
10	金山町	2084件	2376万円

は先進事例として参考にした。

また、返礼品による物産交流はもとより、本町応援団になっていただく取り組みについても検討したい。



支援を受けて「定住促進」の家完成

# 課題山積・まちの未来どう描く

町長一人・地域・仕事づくりに全力

**齊藤** 平成18年度から始まった第4次総合計画は、27年度で終わり、28年度から第5次総合計画が始まる。計画策定には、第4次総合計画の総括が重要である。第4次総合計画10年間の特徴的な成果は。

**町長** 第4次総合計画では、「まちづくり基本条例」を制定し、行政と住民が一体となりまちづくりを進めてきた。

成果と言える事業は、消防の広域化、中学までの医療費無料化、病児保育、中学校・幼稚園の統廃合、小松小学校の全面改築、人工芝

**齊藤** 後期計画の柱、三つのプロジェクトの進捗状況と課題は。

**町長** ①「地域づくり活性化プロジェクト」は、地区交流センターを核としながら防災、健康づくり、地場産業の推進など様々な事業を展開し、「町民が主役のまちづく

り」が構築され定着してきている。  
②「6次産業化推進プロジェクト」は、こまつ市など販売イベントを継続していることにより、販売に対する意識が向上し、農産加工や新商品開発などに繋がっている。28年3月には、6次産業の拠点施設がオープンとなる。  
③「交流基盤確立プロジェクト」は、東京川西会、井上ひさし氏を縁とした交流、地区では、山村留学など都市との交流事業を展開し交流基盤を育んでいる。

**齊藤** 地域分権社会推進の課題は。

**町長** 住民と行政の協働の仕組みを確固たるものにしながら、地域コミュニティの再構築と共に自治能力の向上を目指し、地方分権の受け皿づくりを進めていくことが肝要である。

**齊藤** 公共施設再編整備は目白押し、第5次総合計画策定の重点施策は。

**町長** 協働のまちづくりを基本とし、「人づくり」「地域づくり」「仕事づくり」を視座に課題解決の施策を策定する。



齊藤智志 議員



第5次総合計画の要となる庁舎の再編整備はどうか



# 無利子融資 果たしてその効果は

10月17日に第4回臨時会、11月17日に第5回臨時会、11月26日に第6回臨時会が開催された。主な議題は、一つ目は、米価下落に伴う稲作農家に対する利子補給事業、二つ目には、玉庭小学校屋内運動場（体育館）の新築工事費の増額、三つ目は、町長をはじめとする特別職と町職員の給



持続できる農業の確立を願い収穫作業に汗を流す

与及び期末手当の改定、4つ目には、衆議院議員選挙諸経費の時間外手当など諸経費の委託料などである。歳入については、主に財政調整基金の取り崩しを行い対応する。いずれの補正予算も全員賛成で可決された。

## 米価下落、緊急対策を望む

第4回臨時会では、米価下落による大幅な減収に加え、「経営所得安定対策」の見直しにより影響を受ける稲作農家に対して、無利子で資金を融資する事業の審議が行われた。本町の融資総額は、2億6779万円。その分の利子として、町が23万4000円、県が46万3000円

### 防災の拠点施設となる体育館の充実を

第5回の臨時会では、玉庭小学校体育館の新築工事費の増額補正が審議された。総工費は、3億0829万円となる。工事は、27年度に行うことから今年度は、債務負担行為のみの補正となる。

給与・期末手当7年ぶりの増額改定 特別職と町職員の期末手当が7年ぶりの増額改定となり、職員の給与は若年層に限っての増額。あわせて補正予算2564万円が計上された。

そのほかには、衆議院の解散による選挙費用として、立会人、投票管理者、町職員の人件費、さらには看板設置などの委託料で約1000万円。財政調整基金より2605万円の取り崩しを行い対応した。これにより財政調整基金残高は、6億3094万円となった。

## 請願

### 継続審査

集団的自衛権行使に反対する意見書についての請願

〈所管〉  
総務文教常任委員会  
〈請願者〉  
平和憲法を守り、社会保障をよくする川西の会

代表 平 隆雄  
〈紹介議員〉  
斎藤 智志  
理由 審査未了。

## 人事

### 人権擁護委員の推薦

●島 貫 明(再任)  
川西町大字上小松

同氏の任期が平成27年3月31日をもって満了となることに伴い、法務大臣より候補者の推薦の依頼があったので、議会の同意を求めるもの。

全員賛成により同意

## 12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15
議 員 名	橋本 欣一	遠藤 章一	斉藤 智志	高橋 建一	黒澤 巖	高橋 照夫	淀 秀夫	加藤 俊一	島貫 徳仁	高橋 忠	金子 一郎	佐々木 賢一	高梨 勇吉	齋藤 修一
諮問第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

町提案8議案、議員発議2議案、上記議案以外は全員出席、全員賛成。  
○は賛成、×は反対 欠は欠席、議長は賛否に加わらない。

## 広報モニターから ひとこと ⑦

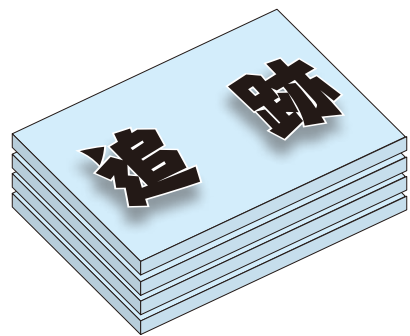
大塚 保科 仁さん



に参加することが出来ますが、傍聴者が少なく感じました。議会中は様々な議案に対し、町長をはじめ各議員の皆様による熱意のある質疑応答の様子を拝見しとても感銘しました。これから川西町でも人口の減少・高齢化、更には農業・工業・商業・教育等に関する問題もたくさんあると思います。それらの改善策に向けた議論を行って頂き、子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる町づくりに大いに期待しております。

私は議会だよりをあまり隅々まで読んだ事はありませんでしたが、広報モニターのお話を頂き、町民の一人としての責務とお受けしました。少し前に、議会を傍聴する機会がありました。町民は誰でも自由





# あれから…… どうなった！



新築なった町営根岸住宅(1DKタイプ)

昨年6月より新築工事が行われていた町営根岸住宅が、このほど完成し、平谷地より9世帯が移転した。淡いベージュ色の外壁に黒の太いストライプが印象的な外観。スロープがあり、階段等には手すりも設置され、高齢者にやさしい造りとなっている。

1DKの37・89平方メートル(11・46坪)が8戸、2DKの52・72平方メートル(15・95坪)が2戸の計10戸である。

## 積極的な住宅政策の展開を

移転することになった町営平谷地住宅は、昭和44年に建てられた木造平屋の1戸建てであったが、老朽化が進行し、平成23年に策定された公営住宅等長寿化計画でも、建替えることが決まっていた。

今回移転する住宅に隣接する8戸についても、簡易耐火構造ながらも、昭和45年の建設であり、耐用年数を大幅に超過していることからこの計画期間中に建替えが予定されている。

既に耐用年数が10年以上も超過し、建替えが懸案となっていた町営平谷地住宅のうち、木造の10戸が、公立置賜病院川西診療所向かいの上小松

根岸に建設され、11月28日、完成内覧会が行われた。新しい町営住宅には12月より移転入居が始まった。

# 高齢者にやさしい町営住宅完成 平谷地から根岸(上小松)に新築移転

## 総務文教常任委員会

# 置農生のスポーツ環境の充実を

## 委員会 レポート

去る10月17日閉会中の所管事務調査を、町営陸上競技場を中心にを行った。県立置賜農業高校に隣接する陸上競技場、野球場、テニスコート(現ホーク練習場)、相撲場はもとも町営の施設であり、無償で高校に貸与している。

30年ほど前は県南でも有数の公認陸上競技場で、整備も行き届いていたが、現在では十分な管理もできず、競技はおろか、けがの危険もあるということである。



高齢者世帯の雪おろし作業に励む玉庭中の生徒のボランティア活動

県立高校でこのような環境にあるところはなく、生徒がのびのびと安全にスポーツできる環境づくりを進め、充実した学生生活を送りたいものである。



学校長より現状報告を受ける

# 産業厚生常任委員会 自治会など関係機関との 連携問われる

10月31日産業厚生常任委員会と民生・児童委員協議会との意見交換会を行った。

本町の民生・児童委員協議会は、委員53人で内3人が主任児童委員で構成され、会長は西山晋隆氏である。活動内容は、各地区

センター毎に分会組織を置き、3つの専門部、高齢者・障がい・児童福祉部に分かれ活動を行っている。



# 海外研修 報 告

## 交流と相互理解につなげたい 4議員、ボルネオ島コタキナバル市を訪問

議会では国際交流と議員個々人の見聞を広めるため、毎年、県主催の「日中友好・県民のつばさ」に派遣してきた。近年の日中関係の悪化により、つばさ自体が中止となり、本年は、川西町国際交流協会「煌」のリチャード・チン氏（大塚在住）のコーディネートにより、交流が深まりつつあるマレーシアに4人の議員を派遣した。



市庁舎表敬訪問、中央が楊文海総監



**広大な未知の国ボルネオ**  
マレーシアは首都クアラルンプールのあるマレー半島と、ボルネオ島の北部にあるサバ・サラワク両州とに分かれている。今回はサバ州コタキナバル市

を視察した。同市は人口55万人の大都市で、国際的な観光リゾート地。周辺はテングザルやオランウータンなどが生息している広大な原生林に囲まれている。

### 大きく違う行政システム

視察は主に表敬訪問と案内役の青年会の方々との交流が中心で、観光局、市庁舎、青年局、州農業省を訪問した。それぞれで大歓迎を受けた。  
行政面では、選挙制度が州首長以上で、郡・市長は任命制。郡・市長はほとんど名誉職、

言語が様々な多民族国家であり、会話が英語であったり、中国語やマレー語になったりと目まぐるしく変わりが戸惑うことばかりであった。

**福よ 来い**  
東沢地区では毎年スマイルクラブ（毎月1回土曜日に開設）で「しめ飾り」を、老人クラブの皆さんに教えていただいています。  
今年は、東沢小学校の学校行事に格上げされ、旧冬12月19日全校生が参加して、正月に玄関に飾るしめ飾りを作りました。左編は老人クラブの皆さんに教えていただき、飾りつけは自分たちで行いました。  
地域の伝統行事を次世代に引き継ごうという大きな目標もあり、完成するたびに歓声が上がり、楽しい時間を過ごしました。

今年も良い年になりましたようにとの願いが込められたしめ飾りは、それぞれの玄関で福を呼び込むことでしょう。

表紙の写真



### 研修団日程表

9月20日	成田発 マレーシア・コタキナバル空港着・歓迎ディナー
9月21日	観光局・農業省・市長訪問
9月22日	少数民族村視察・青年会との交流・市長とのディナー
9月23日	コタキナバル空港発 成田着

### 海外行政視察議員

団 長 黒澤 巖  
記 録 遠藤 章一  
副団長 斉藤 智志  
会 計 橋本 欣一



マレーシア青年運動サバ支部の若者たちと

### 環境問題に取り組む青年たち

急激な開発により環境問題が起きつつある。私たちが受け入れてくれたMMC（マレーシア青年運動）はいち早く環境問題に取り組み、運動を広げようとして

汚染には追いつけない現状が報告された。日本での環境問題の取り組みなどを中心に交流を進めることを約束し歓談を終えた。

### 交流の拡大をはかろう

マレーシアの国名は知っているが内情は未知の部分が多く、交流を進め、相互理解を図りたい。まだまだ、未開発地・分野が多く、

可能性のある地域であると感じた。ここ数年マレーシアからの青年の来町もあり、青年相

互の交流や、サバ州の宿願である食糧生産への支援など大きな交流につなげていきたい。



観光局でレクチャアを受ける



水上レストランで農業局・観光局担当者と会食

まちの未来が見える（12月定例会の傍聴者は8人）

# 議会傍聴においでください

次の定例会は3月

定例会本会議は  
NCV、インターネットでご覧になれます





## ❖ プロフィール ❖

なかやま みか  
中山 美佳

米沢出身玉庭在住。  
夫、小6の息子、夫の母親の四  
人家族。

玉庭地区にお住まいの中山美佳さんに子育てや町に望むことを聞きました。

## 川西町に住んで思うこと

米沢から川西町に嫁いで13年になります。冬は雪が多く大変な事もありますが、満天の星や紅葉で色づいた山々などを目にするたびに、豊かな自然が身近にあることのありがたさを感じています。嫁いできた当初は不安な事もありましたが、隣近所の方がとても温かく家族のように気にかけてくれるため、そんなに地域になじむ事ができました。

## 家族に感謝

我が家には小学6年生の息子がいます。仕事をしながらの子育ては大変ですが、赤ちゃんが様々な面でサポートしてくれるため、大変感謝しています。

5月に他界したじいちゃんにも息子の宿題

を見ても  
らったりと  
本当にお世話  
話になりま  
した。農作  
業や山菜採  
りを教わる  
こともあつ  
たようで、

じいちゃんと一緒に過ごした時間は息子にとってかけがえのない大切な思い出になっていると感じています。

## 充実している地域活動

近所の方に声を掛けていただいていた入会した若妻会や愛護会では、子供と一緒に参加することのできるイベントがたくさんあり、積極的に参加しています。

また息子は小学3年生から地区の交流センターで実施しているキャンプやスキーにも参加しており、とても楽しみにしているようです。



いつも笑顔がたえない家族とともに

## 町の子育て支援に望むこと

子どもの医療費の無料化など子育て支援制度の充実は本来にありがたいと感じています。4月から長男が中学校に入学しますが、少人数で過ごしてきた小学校と違う環境に馴染むことができないのか不安もあります。子どもたちが安心して学び、充実した学校生活を送ることができるよう、きめ細かな配慮と更なる教育環境の充実を望みます。また今後は若い世代が活躍することのできる活気ある町づくりに期待しています。

## 編集の後で

▼謹賀新年。豪雪で新しい年が明けた。▼新年早々の発行は、年末年始の休業があることから、関係者から「年末進行」と呼ばれている。▼議会だよりもその例に漏れず、毎回1月発行号は、日程調整で苦労する。▼この編集メンバーでは、4月号が最後の発行となる。町民の皆様へ親しんでいただけの広報づくりに全力を挙げたい。

(ごまき)

発行責任者 齋藤 修一  
委員長 佐々木賢一  
副委員長 橋本 欣一  
委員 島貫徳石工門  
同 黒澤 巖  
同 齊藤 智志  
同 遠藤 章一  
アドバイザー(文章) 大友喜味雄  
アドバイザー(写真) 青木 督平  
鴨 源一  
斎藤 史郎